

R8 年度 学習の手引き（シラバス）

1	学年	教科・科目	外国語・英語コミュニケーション I (普)	単位数	3	担当者	鈴木・北嶋
---	----	-------	-----------------------	-----	---	-----	-------

1、教科書・副教材

教科書：「Power On English Communication Revised I」（東京書籍）
 副教材：「Power On English Communication Revised I WORKBOOK」（東京書籍）
 ALL EARS Standard（美誠社）、WORDBOX Essential（美誠社）

2、科目の目標

- ・ 英語の4技能を総合的に身に付け、各題材において、自分自身の感想や意見を表現する能力に磨きをかける。意見交換などを通して様々なものの見方を知り、新たなものの見方を育む。
- ・ 様々な題材について英語で読むことによって、世界の出来事に目を向けさせ、多様な価値観を養う。

3、学習の計画

		学習項目	学習のねらい	時数	考査範囲
前 期	4月	Lesson 1 Japan's New Tourism	助動詞+動詞の原形、動詞の現在形・過去形・進行形	70	既習範囲
	5月	Lesson 2 Light from Creatures	受け身、現在完了形、現在完了進行形		
	6月	Lesson 3 Routes to the Top	動名詞、不定詞、SVO (that 節)		
	7月	Lesson 4 Left to Right, Right?	現在分詞、過去分詞、比較級・最上級		既習範囲
	8月	Summer Reading Mama's Bank Account	文と文、段落と段落のつながりを示す語句を理解		
9月	Lesson 5 Banana Paper	関係代名詞、S + seem + to 不定詞			
後 期	10月	Lesson 6 Patterns in Human Behavior	It + be+形容詞+that 節 SVC, SVOC	70	既習範囲
	11月	Lesson 7 No Plastic or No Future	関係福祉、関係代名詞 what		
	12月	Lesson 8、 Oh My Cod! Lesson 9 Is E-sports a Real Sport?s	分詞構文、関係代名詞の非制限用法、過去完了 SVOC, SV00		既習範囲
	1月	Lesson 10 Being Different Is Beautiful	仮定法過去		
	2月	Optional Reading THANK YOU, ICHIRO	文と文、段落と段落のつながりを示す語句を理解		
	3月				

4、評価の方法・観点

	評価の観点の趣旨	主な評価方法
知識・技能	英語の知識・技能の理解を深め、それらを実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できるか	定期考査、単語テスト、小テスト
思考・判断・表現	外国語で話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、表現したり伝え合ったりすることができるか	定期考査、その他の表現活動(例:プレゼンテーション) …別途授業内で指示します
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化を理解し、自ら外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているか	提出物、授業での様子(出席、発言、ペアワーク、グループワーク)忘れ物の有無、授業外で英語を学習する姿勢

5、学習にあたっての注意とアドバイス

分量が増えるにあたり、語彙力・文法知識が必要です。単語は毎日少しずつ覚えましょう。教科書で学習する文法知識は繰り返し確認して、しっかりと覚えましょう。

R 8 年度 学習の手引き（シラバス）

1	学年	教科・科目	外国語・英語コミュニケーション I (理)	単位数	3	担当者	鈴木
---	----	-------	-----------------------	-----	---	-----	----

1, 教科書・副教材

<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 : Heartening English Communication New Edition I (桐原書店) ・副教材 : Heartening I 学習ノート (桐原書店) ・ALL EARS (STANDARD) (美誠社)・WORDBOX Essential (美誠社)

2, 科目の目標

<ul style="list-style-type: none"> ・ 英語を読む・聞く・書く・話すの 4 技能を総合的に身に付け、各題材において、自分自身の感想や意見を表現する能力に磨きをかけ、さらに友人と積極的に意見交換をすることで、様々なものの見方を知る。 ・ 様々な題材について英語で読むことによって、世界の出来事に目を向けさせ、多様な文化感、価値観を養う。
--

3, 学習の計画

		学習項目	学習のねらい	時数	考査範囲
前期	4月	Lesson1 Who Is Your Hero?	・ 八村選手の半生を描いた物語文を読み、自主自律の精神を養う・ 部活動に関するインタビューを英語で聴く・ 友人に英語のインタビューをする	5 3	既習範囲
	5月	Lesson2 Go, Anzu!	・ トイプードルの警察犬に対する生徒たちの感想を全体で共有する・ プレゼンテーションを実施する		
	6月	Lesson3 We Can Make a Difference	・ 世界で起こっている気候変動と問題への取り組みについての意見文を読み、理解を深める		
	7月	Lesson4	・ ボイ捨てをなくす方法についての論説文を読む		
	8月	Creative Problem Solving	・ ボイ捨てを防ぐ方法について、本文を踏まえた上で、各自リサーチ・考察をし、意見交換をする		
	9月	Lesson5 Canned Bread to Feed the World	・ 食料廃棄問題の解決と飢餓地域への支援を可能とするシステムについて読み、理解を深める		既習範囲
後期	10月	Lesson6 Could We Have a Real Jurassic Park?	・ 恐竜再生の可能性について英語で説明する	5 2	既習範囲
	11月	Lesson7 Behind the Price Tag	・ 安価な衣類製造プロセスにおける労働者の実態を述べた説明文を読み、自らの意見を述べる		
	12月	Lesson8 The World's Winter Festivals	・ 世界の冬の祭りを比較し、その共通点を英語で説明する		
	1月	Lesson9 Slackers in the Ant's Nest	・ 環境の保全に関する説明文を通じ、環境の保全に寄与する態度を養うとともに、木のコミュニケーション方法を英語で説明する		
	2月	Lesson10 Capturing the Reality of the World	・ フォトジャーナリストのインタビューをきき、内容を英語で整理する		
	3月	Reading 1 The ABC's of Courage Reading 2 The Boy with the Box	・ 各物語を通して、豊かな情操を培い、長めの英文読解(物語文) に対する耐性をつける		

4, 評価の方法・観点

	評価の観点の趣旨	主な評価方法
知識・技能	英語の知識・技能の理解を深め、それらを実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できるか	定期テスト、単語テスト
思考・判断・表現	外国語で話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、表現したり伝え合ったりすることができるか	定期テスト、音読テスト、プレゼンテーション、その他の表現活動(別途授業内で提示します)
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化を理解し、自ら外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているか	提出物、自主的な単語練習、授業での様子(出席、発言、ペアワーク、グループワーク)・忘れ物の有無

5, 学習にあたっての注意とアドバイス

<p>小さなことの積み重ねが最後に実ります</p>

R8 年度 学習の手引き（シラバス）

1	学年	教科・科目	外国語・英語コミュニケーションⅠ（森・イ）	単位数	3	担当者	鈴木・北嶋・半田
---	----	-------	-----------------------	-----	---	-----	----------

1. 教科書・副教材

<ul style="list-style-type: none"> ・VISTA English Communication New Edition I (三省堂) ・ALL EARS (INTRODUCTORY) (美誠社) 	<ul style="list-style-type: none"> ・VISTA English Communication I Workbook (三省堂) ・チャンクで英単語 Basic (三省堂)
--	--

2. 科目の目標

<ul style="list-style-type: none"> ・英語の基礎的な知識や技能の習得を土台として、コミュニケーション能力の養成を図る。 ・様々な題材について英語で読むことによって、世界のことば、文化、民族などの多様性を知る。

3. 学習の計画

	学習項目	学習のねらい	時数	考查範囲
前期	4月	Lesson1 The Aurora	5 3	既習範囲
	5月	Lesson2 Soy Meat		
	6月	Lesson3 Capsule Toys		
	7月	Lesson4 Pictograms		既習範囲
	8月	Lesson5 We Are Part of Nature		
	9月	Lesson6 A Small, but Happy Country		
後期	10月	Lesson7 Artificial Intelligence	5 2	既習範囲
	11月	Lesson8 Is There a Santa Claus?		
	12月	Lesson9 Kids' Guernica		
	1月	Lesson10 Ethical Fashion		既習範囲
	2月	Enjoy Reading! The Story of Oshin, a		
	3月	Japanese Cinderella		

4. 評価の方法・観点

	評価の観点の趣旨	主な評価方法
知識・技能	英語の知識・技能の理解を深め、それらを実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できるか	定期テスト、単語テスト
思考・判断・表現	外国語で話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、また表現したり伝え合ったりすることができるか	音読テスト、その他の表現活動(別途、授業内で指示します)、ペアやグループ発表など
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化を理解し、自ら外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているか	提出物、自主的な単語練習、授業での様子(出席、発言、ペアワーク、グループワーク)・忘れ物の有無

5. 学習にあたっての注意とアドバイス

失敗を恐れず、学習していきましょう。Practice makes perfect!!!

R8 年度 学習の手引き（シラバス）

1	学年	教科・科目	外国語・論理・表現 I (普. 理)	単位数	2	担当者	北嶋・守屋
---	----	-------	--------------------	-----	---	-----	-------

1. 教科書・副教材

<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 : Standard Vision Quest English Logic and Expression Revised (啓林館) ・副教材 : Vision Quest 論理・表現 I Standard Workbook Revised(啓林館)、英文法ワークショップ (桐原書店)

2. 科目の目標

英語の4技能（読む、聴く、書く、話す）を総合的に身に付け、基本的な文や語句を用いて、情報・意見・考えなどをロジカルに、わかりやすく英語で表現する能力を身につける。

3. 学習の計画

	学習項目	学習のねらい	時数	考查範囲
前期	4月 Lesson1 I want to introduce my new friend.	文の種類	3 5	既習範囲
	5月 Lesson2 Do you want to join our show?	文型と動詞		
	6月 Lesson3 I' m planning a day trip this weekend.	時制		既習範囲
	7月 Lesson4 Have you ever tried it before?	完了形		
	8月 Lesson5 What do you want to do after high school?	助動詞		
	9月 Lesson6 Did you hear about the new shop?			
後期	10月 Lesson7 I' m happy to have you with us.	不定詞	3 5	既習範囲
	11月 Lesson8 What sports do you like playing?	動名詞		
	12月 Lesson9 Digital media has come a long way.	分詞		既習範囲
	1月 Lesson10 That' s why I decided to go back.	関係詞		
	2月 Lesson11 Which do you prefer, cheaper beans or more expensive ones?	比較		
	3月 Lesson12 I think it' s a good idea.	仮定法		

4. 評価の方法・観点

	評価の観点の趣旨	主な評価方法
知識・技能	4技能による実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けているか	定期考查
思考・判断・表現	外国語で話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、また論理的に表現することができるか	定期考查、定期考查以外のライティング・スピーキングテスト（別途指示します）、ペアやグループ発表など
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的・自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているか	提出物、授業での様子(出席、発言、ペアワーク、グループワーク)・忘れ物の有無

5. 学習にあたっての注意とアドバイス

失敗を恐れず、学習していきましょう。Practice makes perfect!!!
